



亀塚小学校

2022年 7月 19日

道徳だより NO.5

文責：道徳教育推進教師 岡本

「ふれあい道徳」 ご参観ありがとうございました！ ②

今回は、5・6年生の授業と参観のご感想を紹介します。



5年1組 「すれちがい」 (主題名：相手の立場もたいせつに)

よし子さんとえり子さんがピアノ教室に一緒に行く約束をしたものの、それぞれに家庭の都合や連絡の行き違いがあり、一緒に行くことができませんでした。ピアノ教室で顔を合わせた2人は、互いの言い分を聞くことができず、関係が悪くなってしまいます。5の1の子ども達の間でも起こりうる、起こっていきそうな教材です。「相手の立場も大切にする」ことについて、みんなで交流しながら考えました。

自分もすぐ怒ったりしていたから、この学習で自分もふり返れたと思いました。これからは、怒らないようにして、友達と仲よくしたいなあと思いました。

【子どもたちの感想】



今日の学習で、相手の話を最後まで聞くことが大切だと思いました。でも、言いたいこともすぐに言うことも大切だと思います。

【参観のご感想】

- 内容も子どもたちにとって身近であり友だちとの付き合い方を学ぶことのできる授業だったと思います。子どもたちの気持ちや言葉をしっかり引きだしてすすめられる授業で、やっぱり流石だなと感心することばかり…。子どもも頑張って手をあげていたので、うれしかったです。
- すれちがいを学習して、相手の話を聞く事と話し合いをして許す事が必要だと改めて思いました。すれちがいもありますが、相手の立場も考えて仲良くしようと話をしました。子供と一緒に学習できて良かったです。
- “すれ違い”は、子どもだけではなく、大人になってからもあるもので、子どもの時に皆で話し合う機会をもていて、大変良かったと思いました。



5年2組 「一本のチューリップ」 (主題名：公正な判断)

みんなで育てた学級園のチューリップ。ひろしさんは、病気で入院しているおばあさんのために、おばあさんが大好きなチューリップを1本だけ学級園からとり、おばあさんへおくります。この行為は許せるかどうかで話し合いはすすみました。

【「ひろしのとった行動は許せるか、許せないか」 子どもたちの考え】

【迷う】みんなががんばって育てたから、勝手にとっていいわけないけど、おばあちゃんが去年の冬からねたきりだから、元気になってほしいとチューリップをとって帰ったんだと思うので、どちらかまよっています。



【許せない】おばあちゃんが病気でも、お母さんやお父さんに言って買ってもらったり、学級園のチューリップを育てているみんなに許可をとればいいから。

裏もご覧ください。

【参観のご感想】

- まず思った事は、高学年のわりに発表をしっかりとする子が多いなと思いました。意見もさまざまでしたが、相手に対しての考え方をちゃんと深掘りして伝え、発表できていた事に感心しました。
- 話に出てくる人の気持ちをくみとった内容の意見もあり、こちらも気付かされました。いろんな考えがあることを知るのが大切だなと思います。友達の意見への反応もできていて良かったです。
- チューリップの話で、みんな色々な意見が出ていました。親が参観していても考えさせられるお題でした。相手の事を考えたりして、とてもよい参観日でした。



自分

6年1組・2組 「カスミと携帯電話」(主題名:たいせつな生活リズム)

スマホの使い方に関する教材を通して、今の自分を振り返りながら、節度や節制について考えました。教材の内容に加えて、「今のあなたなら、(母から借りた)スマホを返すか、返さないか」という問いに対して、現在の自分自身のこととして考え、友だちと意見を交流することができました。

【「スマホを返すか、返さないか」子どもたちの考え】

【返す】

- ・まだ自分には早いと思ったから。
- ・この生活がやめられない気がするから。
- ・別に必要ないし、メッセージのやりとりが全てじゃない。



【返さない】

- ・次から、きまりを作って使ったらいいから。
- ・せっかくお母さんにかしてもらったのに、夜ふかしをしなければレイナみたいにたおれずにすむから。自己管理をすればいい。

私は、この学習をして、携帯電話を使いすぎることがよくあるな、使いすぎるとこうなってしまうのかなと考えました。使いすぎないようにルールを決めたり自分で考えたりして、携帯電話を使うようにしようと思いました。

【子どもたちの感想】



今日の学習で、きまりを作る大切さを知れました。きまりを作ることで、生活リズムがくずれず、体調が悪くなることもないと思います。だから、これからきまりを守ろうと思いました。

【参観のご感想】

- 携帯電話という身近なテーマで、自分だったらどうするのか、真剣に取り組んでいる姿が良かったです。また、自分とは反対の考え方の意見を聞くことができ、いい授業でした。私も納得させられてしまいました。
- 道徳の授業は、相手の立場に立って考える、思いやりを育むことが目的なのかなと思います。授業では、たぶん子供たちは、キレイ事として意見を述べている部分もあるかもしれませんが、それを考える時間を作ることは大切な事だと思いました。想像力を働かせて物事を考える事は、きっとこれから成長していく過程で、振り返ることができる大切な時間となると思います。
- 子供のうちは、ある程度大人がセーブしてあげる事も必要だが、経験して自分で考えることも必要。そのバランスを見極める事が親としての責任だと感じました。なぜ携帯がまだ早いのか…など理由をきちんと説明し、話し合っていきたいと思いました。

授業での子どもたちとの交流、授業後のご感想、本当にありがとうございました。

1年生の「ふれあい道徳」の授業は、1月に行う予定です。